

看護局の概要

神奈川県立がんセンターでは、医療技術の進歩、がんの罹患率の上昇、患者の高齢化・重症化、平均在院日数の短縮化やがん専門病院としての役割を果たすために、看護師には幅広い専門的知識・技術、ケアリング（寄り添う力）、他者の多様な価値観を尊重でき「患者中心の医療・看護」を実践する能力を求めます。神奈川県立がんセンターの教育プログラムでは、一人ひとりの成長する力を信じ、成長過程を支援します。

看護局の使命

がんと共に今を生きる患者に寄り添い、その人らしさを大切にしたい最良の看護を提供します

看護局の目指す姿

● すべての患者・家族の尊厳ある治療、療養を実現します

私達、看護師の役割には患者・家族の権利を擁護する立場があります。そのため、あらゆる病期にあるがん患者さんが、その時々適切な意思決定ができるよう、情報提供者として、また、伴走者として支援することが求められています。

● がん看護の専門性を発揮し、患者・家族に信頼される看護を提供します

がん専門病院の看護師として、患者の安全・安楽を保障すると共に看護実践力を高め、質の高い看護を提供します。そのためには、看護師のキャリア形成に必要な研修の充実を図ると共に、教育環境を整備し、新採用者の皆さんの個々の成長と変化に対応できるように、柔軟な体制で取り組んでいます。

● 看護に誇りとやりがいを持ち続けられる組織を作ります

看護師としての豊かな経験を積み、自己の「看護を語る」ことを通して、看護の価値と意味を見出し、自分の看護観を明確化できると共に、看護に誇りとやりがいを持つ組織を作ることを支援します。

副院長兼看護局長メッセージ

当センターは、神奈川県のがん医療の中核機関として、県内の医療機関と連携をはかり、県民に最良のがん医療を提供する役割を担っています。

看護局では、「がんと共に今を生きる患者に寄り添い、その人らしさを大切にしたい最良の看護を提供します。」という看護局としての使命を掲げ、患者さんが生活者であることを大切に、患者さんとご家族が安全で安心できる看護を提供しています。

看護職として、がんと共に生きる患者さんのさまざまな治療プロセスをおとして、その人にとって今必要なことは何かを考えること、患者さんの病期や家族への影響など予見性をもち、その人らしい人生を生きられるよう支援することを大切にしています。

がん看護を志した仲間と看護を語り合い、日々の実践をおとして、人として、看護師として、成長できる環境作りをしています。看護職としての成長を支援する教育体制も整っています。私たちと共に寄り添う看護を実践していきましょう。

副院長兼看護局長
砂田 麻奈美

看護体制 7:1 看護体制

看護方式：PNS®(パートナーシップ・ナーシングシステム)

PNS®とは看護師が安全で質の高い看護を共に提供することを目的に、2人の看護師がよきパートナーとして対等な立場で互いの特性を生かし、相互に補完し協力し合って、毎日の看護ケアをはじめ、委員会活動、病棟内の係の仕事に至るまで、一年を通じて活動し、その成果と責任を共有する看護方式です。

勤務体制	2交代制	〈日勤〉	8:30 ~ 17:15
		〈ロング日勤〉	8:30 ~ 20:30
		〈夜勤〉	19:00 ~ 9:15

福利厚生

職員公舎



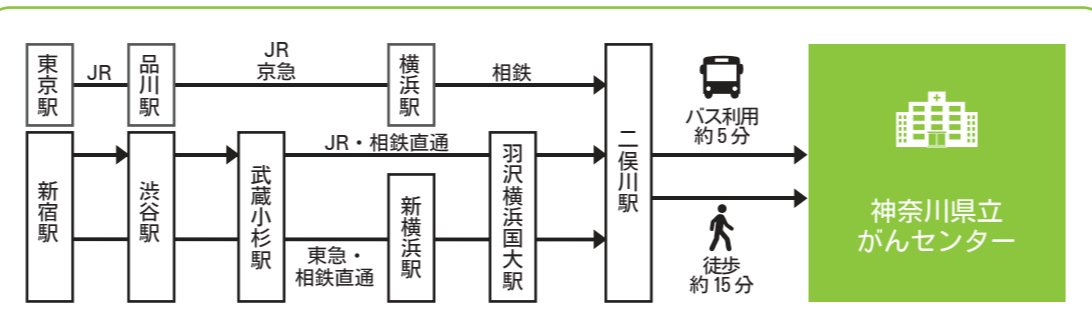
最寄り駅から徒歩10分、病院から徒歩5分程度の距離にワンルームマンションタイプの職員公舎があります。バス・トイレ別です。年齢制限なく、4年11ヶ月入居できます。県内の方も入居可能です。

院内保育園 あゆみ園



敷地内に院内保育園があります。1歳から就学までの幼児を預けることができます。2日/週は24時間保育も行っています。

【交通のご案内】



- バスの場合
相鉄線「二俣川駅」北口バスターミナルバス乗り場から相鉄バス
・「運転免許センター（がんセンター）循環」に乗りし、「ライトセンター前」で下車（所要時間約5分）
・「旭高校入口」行きに乗りし、「ニュータウン第1」で下車（所要時間約5分）
- 徒歩の場合
相鉄線「二俣川駅」北口から約15分
- 車の場合
保土ヶ谷バイパス本村インターを下り厚木街道を厚木方面に向かい「運転試験場入口」の信号を右折（所要時間約5分）駐車場は有料です。



地方独立行政法人神奈川立病院機構
神奈川県立がんセンター
〒241-8515 神奈川県横浜市旭区中尾二丁目3番2号
☎ 045-520-2222（代表）



Kanagawa Cancer Center Kanshogasaya



地方独立行政法人 神奈川立病院機構
神奈川県立がんセンター

看護職員募集案内



がんセンターの概要

ミッション

神奈川県のがん医療の中核機関として、県内の医療機関と連携をはかり、県民に最良のがん医療を提供します。

ビジョン 患者さんに選ばれ、職員が生きがいと誇りを持てる病院を目指します。

バリュー ●患者さんの人権尊重と個人情報の保護
患者さんの意思と権利を尊重し、個人情報を適正に管理します

●安全で質の高い医療の提供
がん専門病院として最良の医療を提供します

●先進医療の開発と臨床研究の推進
新しいがんの診断治療法の開発と臨床研究機能の強化を行います

●人材の育成
優れた医療人の育成のため、がん診療に係わる医療従事者の教育研修を推進します

●経営基盤の強化
医療資源の最大利活用を努め、健全な病院経営のため不断の努力をします

病院データ

診療科 循環器内科 / 糖尿病・内分泌内科 / 呼吸器内科 / 呼吸器外科 / 血液・腫瘍内科 / 消化器内科 / 消化器外科
精神腫瘍科 / 脳神経外科 / 頭頸部外科 / 形成外科 / 皮膚科 / 乳腺外科 / 内分泌外科 / 婦人科 / 泌尿器科
骨軟部腫瘍外科 / 放射線診断・IVR科 / 放射線治療科 / 感染症内科 / 東洋医学科 (漢方サポートセンター)
免疫療法科 (がんワクチンセンター) / 麻酔科 / ICU科 / 緩和ケア内科 / 歯科口腔外科 / リハビリテーション科
病理診断科 / 輸血医療科 / 遺伝診療科 / がんゲノム診療科

病床数 415床

チーム医療

看護師はチーム医療の重要なスタッフです。さまざまな専門職と連携しチーム医療を推進しています。

- 院内感染対策チーム
- 褥瘡対策チーム
- 緩和ケアチーム
- 栄養サポートチーム
- 医療安全推進室会議
- リスクマネージャー会議
- 入退院支援

など



教育体制

神奈川県立病院機構に求められる人材

- 社会人・専門職業人として高い倫理観を持ち、生命の尊厳と人権を尊重できる
- 高いコミュニケーション能力のもと、チーム医療の推進者となる
- 質の高い看護を実践し、(組織の一員として)経営に貢献できる
- 主体的に看護実践能力の向上に努め、安全安心な医療の提供ができる
- 最新の社会変化・医療動向を踏まえ、柔軟な思考で創造的活動ができる
- 教育的な視点を持ち、質の高い人材育成ができる

(神奈川県立病院機構 看護指針より)

新人看護師の1年

入職時オリエンテーション

神奈川県立がんセンターの職員として看護師として求められる知識や行動について学びます

4月

看護技術演習

基本的な看護実践に必要な知識や技術を学びます

- ・電子カルテ操作訓練
- ・輸液管理
- ・採血
- ・抗がん剤の取扱い
- ・ME機器 など

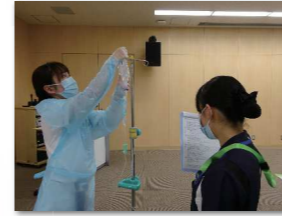
5月

看護補助者との協働

重症度、医療・看護必要度

急変時対応Ⅰ研修

患者の急変に遭遇した時の初期対応を学びます



看護診断研修

NANDA-I看護診断について学びます

7月

6月

夜勤研修

夜勤業務の流れを体験し、夜勤に入る準備をします

KYT研修

医療安全に必要な感受性を高めます

リフレクションⅠ研修

抱えている思いを共有し、客観的に今の自分を見つめます



活躍している先輩たちの声

2年目看護師

私は、がんセンターでの実習で、患者さんのこれまで生きてきた人生に寄り添い、その人らしさを大切にしたい看護を目の当たりにし、私もこのようにがん患者さんに寄り添いたいと思ひ、就職を決めました。入職後は、集合研修と病棟での実践とのダブルの教育体制が整っていました。私が配属されたのは、腫瘍内科と骨軟部腫瘍外科の混合病棟で、治療中の急性期から終末期まで、さまざまな段階の患者さんに関わることができます。化学療法のために何度も入院を繰り返すなど、同じ患者さんに継続して関わる事も多くあります。信頼関係を築き、生活者としてのその人らしさをイメージしながら関わる事を学んでいます。まだまだ自分の未熟さを感じながらも、相談しやすい先輩がいる環境で、日々がん看護に携わっています。

実習担当看護師

私自身学生時代は、がんに対して治らない、辛くて怖いという印象を持っていました。しかし実習中にがん患者さんを受け持つ中で患者さんが本来持っている強さに気づきました。その強さに私自身勇気づけられ、看護師として患者さんが自分らしく生きていくことを支えていきたいと思うようになりました。そうした経験からがんセンターの看護局の使命である“がんと共に生きる”その人らしさを大切にしたい最良の看護に共感し入職を決めました。セクションではフレッシュパートナーを経て実習担当を任せられるようになりました。入職後も入職後も患者さんから教えていただくことの多さを実感しています。学生さんにも実際の患者さんに関わることで学生自身がどうありたいと思うのか、学校で学習してきたことがどう活かされるのかに気づき、考える実習となるよう支援していきたいと思っています。

専門看護師

学校を卒業後、大学病院で勤務をしていました。がんの治療が難渋して全人的苦痛を抱えている患者さんや倫理的問題を抱えている患者さんなど、さまざまな患者さんを看護してきました。その時に、より専門的な知識や技術を持って看護実践をしたいと思ひ、また、私だけが専門的な看護実践ができるだけでなく、私が所属する組織全体の看護の質の向上に繋がるような働きかけがしたいと思ひ、がん看護専門看護師を志しました。がんと共に生きる患者や家族を全人的に捉え、寄り添い支えていけるような看護の提供を目指しています。私は現在、無菌病棟に所属しています。病棟スタッフと協働し、患者の倫理的問題を含めた看護問題について、日々考えながら看護を実践しています。また、看護師養成校での講師や研修会のファシリテーターなどもおこなっています。

認定看護師

看護学生の時の実習でがん患者さんに関わり、がん看護を学びたいと思ひがんセンターに就職することを決めました。私が乳がん看護認定看護師を目指すきっかけになったのは、辛い中でも治療を頑張る患者さんや家族との関わりでした。乳がん看護認定看護師である先輩看護師の方から沢山のことを学び、支えていただき、先輩看護師のように目指したいと思うようになりました。また、不安を持つご家族の支援も学びたいと考えました。現在は病棟に所属し、手術や化学療法で入院する乳がん患者さん、家族の看護を担当しています。乳がん患者さんの治療はさまざまであり、背景を捉え、患者さん、家族の思いを聞き、その思いを大切に看護をチームで実践できるよう活動しています。

e-ラーニングを導入しています
インターネット環境があれば場所や時間を選ばずに学習ができる環境が整っています

1年のまとめ

- 1年間頑張った自分を認め、
- 2年目に向けた準備をします

3月

11月

急変時対応Ⅱ研修

患者の急変を想定し、根拠に基づいた救急対応に必要な知識・技術を習得します

リフレクションⅡ研修

今の自分を客観的にとらえ、自分に必要な対処行動を見つけます

※研修は毎年見直しで更新しています
※このほかキャリアラダーに基づく研修があります